

2 自社の企業概要と現状

※本ページ以降、3ページを超える部分や欄外記載、別紙は審査対象としません。

○ 企業概要※主要製品やサービス、主な顧客等について記載

当店は、〇〇線〇〇駅近くの家族経営の小規模洋食店です。昭和〇〇年に開店して〇年続く老舗洋食店です。近隣には、コンビニートや商工業団地が多く、そこで働く方々が主な顧客層です。昼は、洋定食のランチメニュー中心に、夜は、仕事帰りの方々に洋酒類や、おつまみ的な料理を提供している洋居酒屋になります。

○ 現状※自社の強み・弱みを記載

昼も夜も提供メニューが豊富なことが強みで、顧客の要望に対応しており、常連客の確保にも貢献しており、当店の強みである反面、調理作業の手間が増え、限られた従業員では、十分な顧客接遇に手が回らない現状です。限られた従業員のみでは、従来の接客を続けることは困難になってきております。

3 補助事業の区分（該当するものに☑してください、複数選択可）

- 業種特有業務効率化事業、経理業務効率化事業、営業業務効率化事業、労務管理効率化事業、その他業務効率化事業

4 補助事業の内容

○ 補助事業の目的・取組内容 ※経費ごとの必要性も記載

新しく料理のQRコードオーダーシステムを導入し、各席にQRコードを配布し、顧客がそのQRコードを自身のスマホで読み取って注文ができ、即直接厨房に注文内容が判ることから、店員が注文を受ける作業を極力省けることになる。

導入経費：QRオーダーシステム 今回の計画の根幹となるシステム

レシートプリンター 顧客がスマホから注文した内容を、厨房で出力するために使用

○ 現在のプロセス

- ① 来店客を店員が席に案内
- ② 店員が注文をとる。
- ③ 店員が注文内容を厨房に伝える
- ④ 店員が客席まで料理を運び提供する

○ デジタル化後のプロセス

- ① 同左
- ② 顧客自らスマホでオーダー
- ③ 自動的に注文内容が厨房に伝わる
- ④ 同左

○ 補助事業の効果 ※人手不足への効果も記載

このシステムを導入することで、店員が注文を取る手間、時間が削減し、配膳、片付けに注力できる。結果、これまでランチタイムのキャパシティが〇〇組程度だったのを、〇〇組程度まで向上させることができ、同じ従業員数でも、客数の増加と売り上げの向上が期待できる。

○ 実施スケジュール

※発注時期、納品時期、支払時期、稼働開始時期について記載

予定時期	実施内容
〇年 8月	交付決定通知書受領
〇年 8月	交付決定受領後、QRオーダーシステム発注
〇年 9月	QRオーダーシステム納品、試行、代金支払い
〇年10月	QRオーダーシステム運用開始

留意事項※事業開始までに取得する必要がある免許や許可などがあれば記載なし